

RRSだより 第4号

医療安全管理室・RRS部会
藤谷茂樹
編集 ICU/CCU 工藤

平成25年度
呼吸に関連した(SpO2低下・呼吸回数の異常)RRS起動31件ありました。
そこで、今号はSpO₂モニター特集です。

RRSとは重症化する前の兆候を発見し早期に対応することで院内心肺停止の減少と、患者の予後を改善するシステムです

SpO₂って？ パルスオキシメーターって？

- SpO₂は動脈血Hbの何%が酸素と結合しているかを表示したものです。
- パルスオキシメーターは少ない苦痛でリアルタイムに酸素飽和度を測定してくれます。とても便利なものですが効果的にモニターされているかを確認することが大切です。正確な値が表示されているのか？以前に採取した血ガスの値は・・・などモニタリング自体の正確性の観察も重要なのです。

脈拍と同期して波形が出てる？



インジゲータが上までいっている？



マニキュアは？末梢冷感は？



酸素解離曲線

頭の片隅におきながら観察やケアをしましょう。

酸素解離曲線とはSpO₂とPaO₂の関係を示したグラフです。
RRS基準となっている

SpO₂ < 90%は・・・

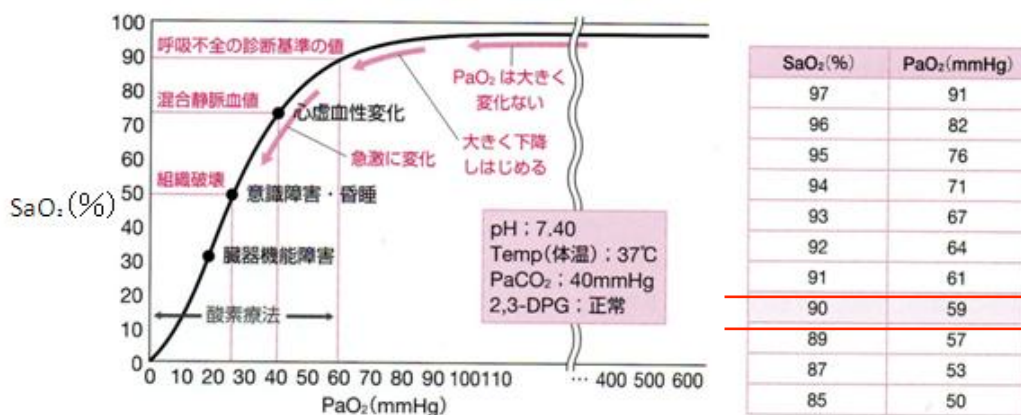
おおよそ PaO₂ 60mmHg以下(正常値以下)

であることが予想される状態なのです。

(貧血・高低体温・周囲の光に影響されたものなど例外はありますが・・・)

急激に低下している場合は身体に何らかの異常事態が発生しているかもしれません。

看護援助の際にSpO₂が低下している場合「ひと呼吸」において、患者様の状態を確認しましょう。



今後も呼吸や呼吸に関連した援助についてのお便りを続けていきます。
次回シミュレーションは10月22日(水)5階南病棟対象です